

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ヨハネ 1:5 …………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 9番 聖なる、聖なる、聖なるかな
- *交読文 …………… 46番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 175番 み霊よわれ歌う時
- 礼拝のための祈り ……… 成田エクレシア:史執事 天声:小林伝道師
- 賛美 …………… 382番 約束の地を
- メッセージ …………… 何をしても繁栄し栄える道(ヨシュア記 1:7-8)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 409番 渴(かわ)きあえぐわが魂は
- 幸せと成功の宣言 …… 会衆一同
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

天声教会は

- 御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- 主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- 全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- 受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

今____と、すべての民とは、共に立って、このヨルダンを渡り、わたしが____に与える地に行きなさい。____が、足の裏で踏む所はみな、わたしがモーセに約束したように、____に与えるであろう。____の領域は、荒野からレバノンに及び、また大川ユフラテからヘテびとの全地にわたり、日の入る方の大海に達するであろう。____が生きながらえる日の間、____に当ることのできる者は、ひとりもないであろう。わたしは、モーセと共にいたように、____と共にあるであろう。わたしは____を見放すことも、見捨てることもしない。強く、また雄々しくあれ。____はこの民に、わたしが彼らに与えると、その先祖たちに誓った地を獲させなければならない。ただ強く、また雄々しくあって、わたしのしもべモーセが____に命じた律法をことごとく守って行い、これを離れて右にも左にも曲ってはならない。それはすべて____が行くところで、勝利を得るためである。この律法の書を____の口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、____の道は栄え、____は勝利を得るであろう。わたしは____に命じたではないか。強く、また雄々しくあれ。____がどこへ行くにも、____の神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない。(ヨシュア記 1:2-9)

先週、キム博士を通してコーエンジャパンの講義が行われた。コーエンで終始教えられているヘブライ思考は、ひとえに「御言葉の生活習慣化」である。ユダヤ人は、御言葉(トーラー)を生活習慣化させる究極的な方法としてテフィリンを実践しているが、私達も新旧約をテフィリンする理由は、新旧約に満ちている生き方の成功と失敗の本質を刻み込んで、成功に生き、失敗に生かない事を、体質化させるためである。人はどういう訳か、親から教えられてもいないのに、罪を自動的に実行し、罪の欲を抑え込む事に困難を覚えるが、それは、人が善悪を知る知識の実を食べた結果である。それ以来、人は創造主から離れ、また創造主が定めた人間が歩むべき絶対的な基準から離れ、自分の善悪判断で生きようになってしまった。

人を創造された主は、そんな人間に、人の歩むべき絶対的な基準、すなわち「トーラー」を授けられ、そして御言葉そのものであられるイエス・キリストという、「リビングトーラー」を私達に授けられた(ヨハネ 1:1)。トーラーは創世記から申命記のモーセ五書、すなわち、主が仰せられた神の言葉そのものを言うが、続くヨシュア記以降の時代は、その与えられたトーラー通り生きるか、それとも無視して生きるか、という、御言葉の取捨選択の時代となった。今、私達にイエス・キリストというリビングトーラーが示されて以降、彼に従って生きるか、それとも、彼を無視して生きるか、という、取捨選択の時代にある。そのような時代に入って、主が真っ先に言われた言葉が、今回の御言葉、すなわち、主の言葉を離れて右にも左にもそれではならない、という言葉である(ヨシュア 1:7)。すなわち、私達が歩むべき道は、一本道で、この一本道以外に、右も左も選択の余地は、本来無い。その道とは神の言葉、御言葉なるイエス・キリストである(ヨハネ 14:6)。

もし、この一本道を手放すなら、その瞬間から右も左もわからなくなり、勝手に歩み出すようになって、罪と死が始まる。事実、ヨシュア記の次の士師記以降は、滅茶苦茶な時代になってしまった。彼らの口から御言葉が離れ、おのおのが自分の良いと見える道に従って歩んだからだ(士師記 17:6、21:25)。私達も、御言葉を宣言する事(テフィリン)を止めた途端、罪やサタンに勝てなくなる事を経験しているのではないだろうか。神のこぼから右や左にそれるなら、選択の余地なしに罪へ引き寄せられ、滅亡に至る以外に無い。

モーセの時代、エジプトの奴隷状態から離れた民は 60 万以上いたのに、残念ながら、神様の言葉を口から離さず、約束の地へ入れたのは、ヨシュアとカレブの 2 人だけだった。それでヨシュアは、モーセの死後、約束の地を占領する際に、人々の口を閉ざし、彼らが人間言葉を一切しゃべらないようにさせたのだ。

8 節には、御言葉をあなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない、とある。つまり御言葉は、目で黙読するだけでは不十分で、口で宣言するべき事が示されている。御言葉を目で読み、口で宣言し、頭に写して、心を満たした時、思いと心に彫刻された(シャナン)状態となる。そうすると、今までは、罪を行うのが自動化だったのが、御言葉に従った「行い(アーサー)」が自動化され、こうして「あなたのすることで繁栄し、また栄えることができる」、と約束されている御言葉が、成就するのである。

御言葉をいつも思い巡らすなら、どうしたらイエス様の言葉どおり生きていられるか、どうしたら、神の国の実現できるのだろうか、と、いつも考え、思い巡らすようになり、意識の世界では、いつも御言葉を軸に置いて生きよう、生きよう、とするようになる。そうして24時間、潜在意識において、御言葉に基づいた思考パターンが、常に存在するようになり、御言葉に沿った生き方をするようになるのである。

また、「行え(アーサー)」と命じられているが、アーサーは「造る」「実を結ぶ」意味もあり、創世記1章において、天や太陽、月、生き物や人間を「造った」語である。主の言葉が、思いや心にそのまま刻まれ、神の言葉を宣言するなら、神が「良し」と言われたものが「造られる(アーサー)働きが起きる。神のアーサーが築かれた人は、行く所どこでも栄える、と約束されている理由は、その人には、神の「良し」をアーサーする能力があるためであり、それを意識している人が、道を歩くなら、被造物がそれに応じるからだ。世の中の、神様の言葉なしに生きている人は、そのような人には、決して勝てない。

コーエンの学びでは、御言葉を口ずさんでテフィリンし、御言葉の体質化・御言葉の生活密着型を目指しなさい、と言われていた。まず私達が御言葉を実践(アーサー)し、また人に実践させ、周囲の被造物が変えられ、ますます神の国を広めていく私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 礼拝 11:30
English Service 14:00

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:00～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:00～
金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058 パスター：林和也 川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201
TEL/FAX: 045-326-6211
Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>
email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube